

令和6年度中学校英語スピーキングテスト(ESAT—J YEAR 3)について

都立高校入試へのスピーキングテスト導入の中止を求める会 2024/12/4 記者会見資料

生徒も保護者も教員も大困惑！！

1 試験前から多くの困惑の声が！

①個人レポート(結果)の活用や保管について説明不足で混乱

個人レポートに「受験用二次元コード」と、「専用ポータル用照合コード(8桁)」が記載されており、それが3年の受験の際の登録の際に必要なが、その旨の説明がなく、そのレポートが家のどこにあるのかわからないと言う生徒が多かった。また、中学校や高校でこの結果を活用するとしているが、実際には、この結果が活用されているという声は、中学でも高校でも聞いたことがない。

②登録の際のトラブル（今年から登録を保護者が行うことに）

・「受験用二次元コード」の入力がうまくいかない

「受験用二次元コード」は、ハイフンを取らないと入力ができない。そのことについては、生徒と保護者に配られたガイドブックには一言も書かれていない。(ある学校では、担任が不登校の生徒の家庭訪問をして一緒に登録してみてもできなかったの、パソコンが得意な生徒に、説明会前に持ち帰って確認をしてもらい、そこで発覚した。)

・申し込みのアプリがうまく機能しないことが多すぎる。

QRコードで申し込みのページで必要事項を打ち込んだ後で、保護者のメールアドレスに6けたの番号が返されて、それを申し込みページに打ち込むようになっているが、その設定時間が最初は3分であった。

返信までに2分45秒かかってしまい、その後15秒で入力するなど不可能。しかも 아이폰 を使っている保護者はメールを開くと最初の画面が閉じてしまうなどの障害があり、最初からの打ち込みになった。

学校からヘルプデスクに電話をして状況を伝えて、その締め切り時間は延長されたが、今でもなお、グーグルの G mail のアドレスには返信が遅く、時間内にメールが届かないという保護者からの相談が多くあった。

・保護者用のヘルプデスクが通じない⇒ 学校に問い合わせが多数！

未熟な登録システムのために、「どうしてもクラスの登録ができない」とか、「YEAR2との紐付けが難しく、新規登録をしてしまったので、ダブルで登録してしまった。片方削除を」など、たくさんの完結していない案件に学校が対応しなくてはならない状況がある。(保護者用のヘルプデスクは通じないので学校に問い合わせがくる)

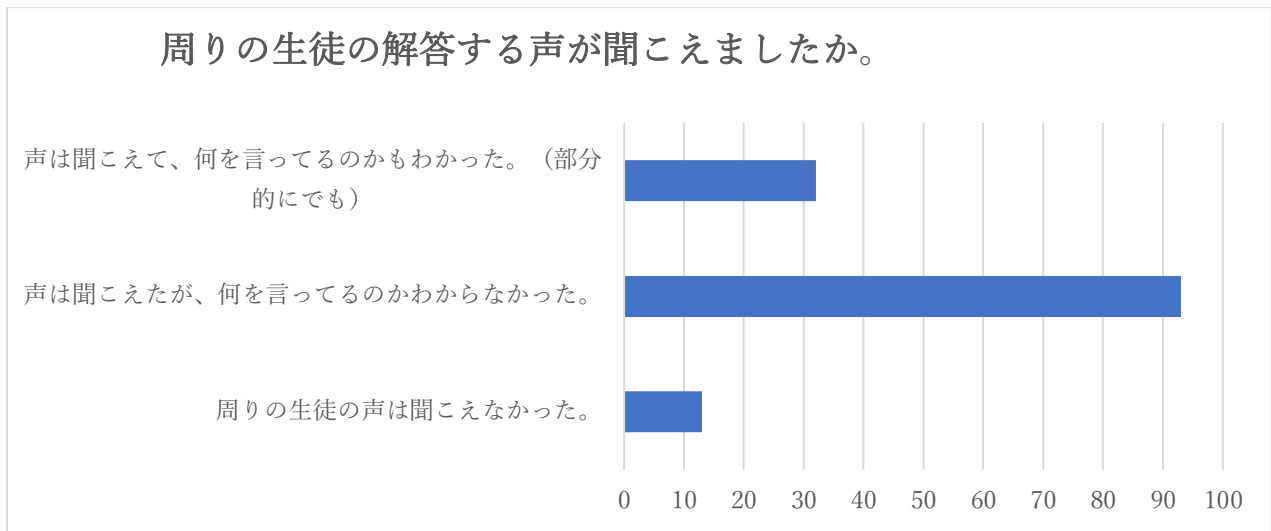
ヘルプデスクに電話をすると、「混み合っています」と切られてしまう。YEAR1・2のヘルプデスクにかけたらやっと繋がった。困っている状況を説明すると、「業者に確認します」と言われ、返事に2週間くらいを要する。

・教員が登録状況を確認するページも不完全

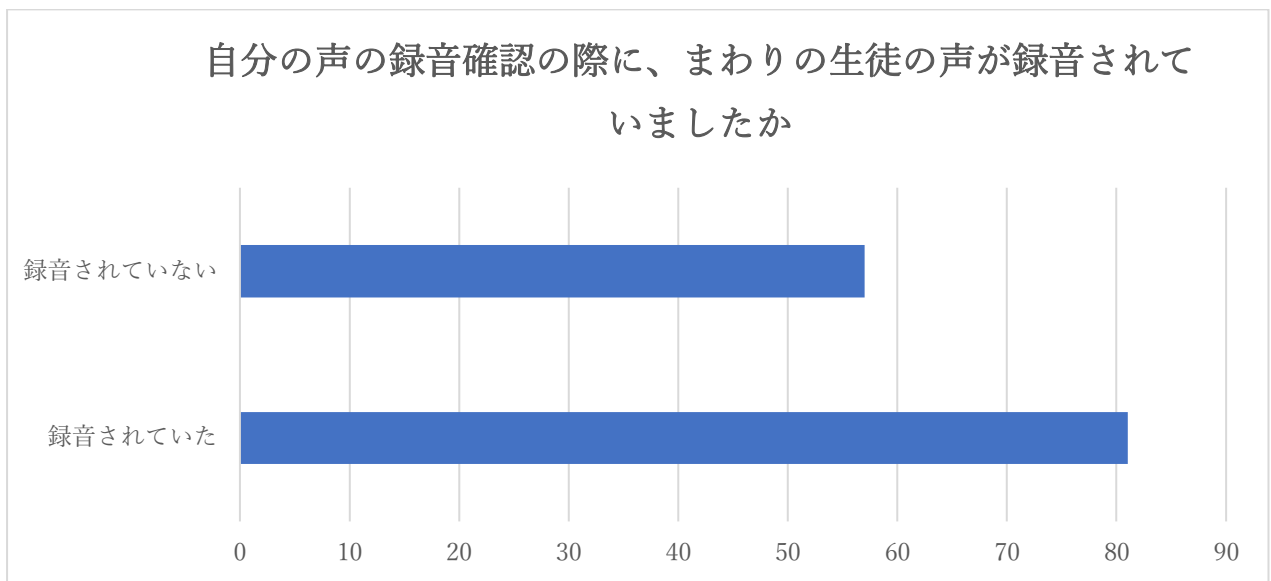
登録開始の時期にはまだ開設されていなかった。そのため、登録状況を確認するために学校では「登録ができれば提出して」と紙を配布する必要があった。またどこでつまづいているかも把握する必要があった。(ヘルプデスクに問い合わせたら、登録状況確認ページの開設は8月上旬まで待ってほしいとのこと、三者面談は7月中に終わっている。しかも9月すぐに修学旅行がある、そんなヘルプはその時期にできない)

⇒ 3年経っても登録システムすら完備されていない状況

2 試験当日もいろいろ困った！ (都内 A 中 3 年生)



- ・一人一人声の大きさが違うからザーという音が鳴っていても声の大きい人の解答は聞こえてしまった。



当日の具体的な様子や気付いたことは何かありましたか？

- ・試験監督と生徒側でコミュニケーションが取れていない
- ・試験監督の進め方がわかりにくかった
- ・監督官の指示が早くてまだ大多数が作業をしているのに進められそうになることが多々あった
- ・解答中、水が流れる音の音量を調節できなかった。
- ・問題を録音するときのザ〜って音が混じって自分の声が聞きにくかった
- ・テストがとても難しかった。問題を答える時にザーという音で自分がしっかり発音できているかわからなかった。
- ・相当時間があまり沈黙の時間がとても続いた。
- ・待ち時間がすごく長かったです。"待機の時間が長い 一つの行動に時間がかかる
- ・待機時間をもっと短くできると思った

教員の声

- ・事前の持ち物など詳細を業者に問い合わせたが、返答が来たのは、試験が終わってからだった。
- ・ただただ事前の登録の確認がめんどくさかったです。
- ・登録、申し込みに関することがとにかく大変です。
写真や組番号を入力しない状態で受験申し込みが出来てしまうので、入力不十分なのに申し込み完了したつもりでいる生徒が多数いました。
教員の管理ページが見つらい。そして何より、コロコロ変わってしまうとこちらもまた一から動かなきゃいけなくなるので、業者が変わっても受験申し込みなどは、都立入試のように都で管理はできないのか
- ・電話窓口では申し込みマニュアル以外のことはわからないと言い、申し込みの不具合に対して対応できない
- ・不受験申請の書類の書き方などはっきりと例として書かれていない
- ・顔写真がうまく貼れず、後からバージョンアップしたなど後手の対応が多い。その事はブリカンから周知していない。
- ・アカウント作成時にパスワード登録のための返答メールに時間（2.3 日後届く）がかかり、すぐに登録ができないため、登録作業が進まない
- ・year2 からの紐付けの意味がない。登録された情報が名前くらいで結局登録情報の編集はしなければならない
- ・登録に関する基準（どこまでやれば申し込み完了になるのか）の資料が8月下旬に、市に届いた。
これに限らず保護者に伝達する時間や余裕が常になくお知らせが多い。
- ・結局英語科担任で確認することが多く、保護者対応や英語の時間を潰してまで説明、確認作業をしなければならない。
- ・進路指導と重なる時期に、英語科はコマ数が多いので、平日に確認作業はしにくいので土日に確認することが多くなってしまう。
- ・生徒たちからブリカンのサイトについての愚痴を聞く、そればかりか杜撰なサイトはいい加減にしてほしいと保護者から訴えあり。
- ・やはり、登録のシステムの不備が多く、こちらの指摘で業者がやっと気づく状態です。
結局中学校がフォローするように通達が来ました。2 学期の忙しい中急な要請をされても無理です。謝罪もなく仕事が追加されてます。
- ・保護者にすべて手続きを任せることを、学校がやらせなければならず、保護者の質問にも答えようがない、のが面倒です。コールセンターの回答も遅かったり、あいまいだったり、で9月20日の締め切りまで間に合うのか疑問です。また、都立を受けないので登録しません、という家庭も多いです。
ミスがあったときは学校がそれを問われるのか、保護者責任なのかもわかりません。

この試験の問題を3年前から訴えてきましたが、残念ながら、その声は都教委には届かず、毎年、多くの受験生が理不尽な思いをし、その受験生の保護者も、受験生を抱える精神的ストレスに加え、更なるストレスを強いられ、教員もこの試験のための様々な事務処理で疲弊しています。

到達度テストとしても、入試としても不完全で、公平性、公正性の保てないこの試験は、都民の血税を無駄にしていると言わざるを得ません。

3年経った今、と都教委も都議会も、この試験の総括をきちんとし、都民にもきちんとした説明をし、この事業を中止することが急務ではないでしょうか。